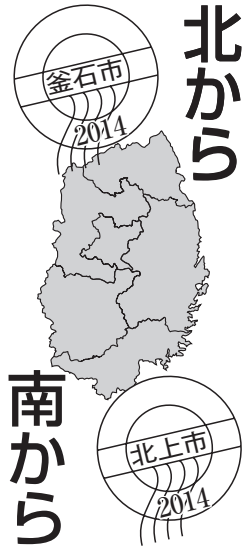


特色あるPTA



復活すること、続けていくこと

釜石市立甲子小学校PTA



釜石市の内陸部にある甲子小学校は、震災直後に校庭が自衛隊の拠点となり、体育館も避難所となったことで、あらゆる行事がストップしてしまいました。PTAとしてそのままの状態ではPTA地区対抗ソフトバレー

ボール大会を復活させることにいたしました。

続けていたものを止めるのは簡単ですが、いったん止めてしまったものを復活させることにはものすごいエネルギーが必要になります。まして震災という大きなストレスを抱え、自分たちのことで精一杯の状態なのに、あえて活動を復活させるということは担当役員の方々にも大変な苦勞を強いてしまったなと思ったこともありました。

地区対抗ですから学区内8地区それぞれで選手・応援要員などを集めなければなりません。震災後、釜石の内陸部に居を構え甲子小に転校・入学された方も多く、たった2年ですがPTAの世代も大きく変わり、そのような行事があったことも知らない方が多くなっていったことに

も驚かされました。

練習日は人の集まりも悪く、本当に開催できるのかと危惧する声もありましたが、当日は応援も含め大勢の参加者が体育館に集まり、先生方も含めて大いに笑い、スポーツを通じての懇親ができました。

震災から三年。復活したこの行事を通じ、親世代こそが笑うこと楽しむことの大切さを改めて痛感する機会となりました。活動は始まったばかりですが、次の笑顔のためにがんばっていきたいと思います。

(前PTA会長 菊池亜紀子)

地域での活動を充実させ体験させよう

北上市立口内小学校PTA

学区は、北上市の東部に位置し、世帯数は555戸で第一次産業(稲作・酪農・養豚・りんご・しいたけ・林業等)に従事する世帯が、約六割を占めていますが、市の中心部まで五分という利便性によることもあり、多くは会社員や公務員等との兼業者です。かつては、中学

校、高校(黒北分校)もあり、教育環境並びに伝統文化の継承に熱心な地域としての誇りを感じます。

口内小学校PTAは、「地域での活動を充実させ体験させよう!!」地域を知り、理解しようとする心 かかわりを大切に思う心 地域を愛し、役立とうとする心を育てよう!!」をスローガンに会員五五名(教職員含)で活動しています。

現在、学年PTAと校外指導部・広報部・厚生社教部の三つの専門部会があり、総会時に開かれる各部会に於いて企画立案した事業を展開しております。

本校の総会は、全会員参加のことからも、教育への関心並びに意識の高さを誇ることが窺えます。

また、郷土芸能「口内鬼剣舞」

に取り組んでいます。運動会は勿論、地域の神社例大祭等でも舞を披露し、指導には口内鬼剣舞保存会の皆さんによるご協力をいただいています。

この他にも、早朝環境整備作業を親子で取り組み、運動会では、準備及び役割分担、当日の係活動に至るまで、子どもと教師そして各専門部が責任をもち実施しています。

小規模校ではありますが、これからも口内の子どもたちの健全育成を願って、家庭・地域・学校が一丸となり、PTAが相互に協力し、子どもの教育、教育環境整備のために地域を挙げて連携・協力しながら活動していきたいと考えております。

(PTA会長 瀬戸和信)

表紙「写真説明」

久慈市立久慈中学校PTAは、研修・生活指導・文化・広報・環境厚生(5つの委員会)によって活発に行われています。写真は、毎年6月に実施している「親子花植え」・「草取り」と「校舎の窓拭き」の取組の様子です。親子同士、親と教職員が会話をしながら、気持ちのいい汗を流し、子供達の学び舎の環境整備を行っています。生徒の幸福な成長のために父母と教師がしっかりと連携しているPTAです。

(会長 新田 宏和)